

帝國議會貴族院議事速記錄第二號

〔副議長候爵黒田長成君議長席ヲ下リ議長公爵近衛篤磨君著席〕

明治三十二年十一月二十五日(土曜日)

午後一時十分開議

議事日程 第二號 明治三十二年十一月二十五日

午後一時開議

第一 侯爵伊達宗徳君、侯爵菊亭修季君、成川尙義君、堀眞五郎君請暇ノ件

刑法附則中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 民法第千七十九條及第千八十一條ノ規定ニ依ル遺言ノ確認ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 民事訴訟費用法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第八 法人ニ於テ租稅及葉煙草專賣ニ關シ事犯アリタル場合ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十 鑄業條例中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第十二 獄疫豫防法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

第十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第十四 市町村立小學校教育費國庫補助法案(政府提出)

第一讀會

第十五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○副議長(侯爵黒田長成君) 昨日本院ニ於テ議決ニ相成リマシタ 勅語ニ對シマスル奉答書ハ今朝參内謁見ノ上奉呈致シマシテゴザイマス、就キマシテハ其節賜リマシタル 勅語ヲ朗讀致シマス
朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス
〔一同敬禮〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 近衛議長ニハ本日既ニ歸朝ニ相成リマシテゴザイマス、依ツテ是ヨリ議長席ニ著カレマスル筈ニ相成ツテ居リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ日程ニ移リマス、第一、公爵九條道孝君疾病ニ附キ五週間、公爵毛利元昭君疾病ニ附キ五十日間、公爵島津忠濟君疾病ニ附キ九十日間、侯爵伊達宗徳君疾病ニ附キ三十日間、侯爵菊亭修季君疾病ニ附キ四十日間、成川尙義君疾病ニ附キ三十日間、堀眞五郎君疾病ニ附キ九日間、右請暇ノ願が出テ居リマス、御異議がナクバ許可致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 刑法附則中改正法律案、政府提出、第一讀會、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

〔河田書記官朗讀〕

刑法附則中改正法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十二年十一月二十二日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
司法大臣 清浦奎吾

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載錄ス〕

刑法附則中改正法律案

刑法附則中左ノ通改正ス

第五十二條 鑑定、通辯又ハ翻譯等ニ付キ數多ノ時間又ハ特別ノ技能若クハ費用ヲ要スル時ハ日當ノ外別ニ相當ノ金額ヲ給與スルコトヲ得

〔政府委員倉富勇三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(倉富勇三郎君) 本案ハ誠ニ簡単ナモノデゴザイマス、此提出ノ理由モ極メテ簡単デゴザイマス、一言其理由ヲ申述ベルゴトニ致シマス、裁判上ノ必要ニ因リマシテ裁判所ヨリ鑑定人又ハ通辯等ヲ命ジマシタルトキハ、此勞力ニ對シマスル報酬トシテ日當ヲ給スルコトニナツテ居リマス、其日當ノ金額ハ刑法附則ノ第四十九條、此四十九條ト云フノハ何箇條モゴザイマスガ、其内ノ乙ト云フ箇條ニ於キマシテ出頭一度ニ附キ金三十錢カラ金五圓マデノ範圍内デ給與スルト云フコトガ定メテゴザイマス、ソレデ通常ノ場合デゴザイマスレバ右ノ金額内デ左程ノ不都合ハ感ジマセヌノデゴザイマス、併ナガ

ラ或ル場合例ヘバ殺人ノ事件ニ附キマシテ被害者ノ死ニ至ツタ原因ヲ鑑定致シマスルトカ、又ハ被告人ノ精神上ノ鑑定ヲ致シマスルトカ、或ハ又文書ノ偽造トカ印章ノ偽造トカ云フヤウナ事件ニ附イテ其文書印章ガ果シテ偽造デアルヤ否ヤ鑑定ヲ致シマスルトキハ隨分多クノ時間ヲ要シマスルコトモゴザイマス、又特別ノ技能ヲ要スルト云フコトモゴザイマス、ソレ等ノ場合ト云

テ常ニ非常ナ手數ノ懸ルト云フコトモゴザイマセヌケレドモ、事件ニ依ツテ

ハ殊ノ外手數ノ懸ルコトガゴザイマス、斯様ナ場合デハ何分唯今ノ其金五圓以下ノ範圍内デ日當ヲ給シマシテモソリレデハ十分ナト云フコトニハ參リマセヌ、ソレカラ又通辯ノコトニ附イテ申上ダマシテモ外國人が刑事ノ被告人トナツタ場合デハ隨分通譯ニ附イテ骨ノ折レル場合モゴザイマス、ソレデ就中鑑定ノコトハ初メ裁判所ニ一度出頭致シマシテ、ソレカラ其鑑定ノ終リマスルマデハ強テ裁判所ニ出ル必要ハナイ、却ツテ裁判所ノ外ニ於テ鑑定ノ必要ガアリマス、精シク申シマスレバ或ハ監獄署ニ往ツテ被告人ノ精神上ノ鑑定ヲスルトカ、或ハ又鑑定人自己ノ宅デ色々ノ鑑定ヲスル必要ノアルコトガ間アリマス、然ルニ此刑法附則デハ出頭一度ニ附キ……其度數ニ依ツテ日當ヲ給スルコトニ定メゴザイマスルカラ、旁々其金額内ノ給與デハ不十分ヲ感ズルコトガ多イノデゴザイマス、デ鑑定トカ通辯トカ申シマスコトハ申スマデモナク其人ノ技能ニ屬シマスコトデゴザイマスカラ、其人ガ自ラ進ンデ其事ヲ爲スヤウデナイト何分十分ノ効果ヲ收ムルコトガ出來マセヌ譯デゴザイマス、加之證人ニ附イテハ證人ハ若シ呼出ヲ出シマシテ呼出ニ應ジマセヌトキハ法律ハ拘引狀ヲ以テ之ヲ引致スルコトヲ許シテアリマスガ、鑑定人ハ呼出ニ應ジマセヌモ拘引狀ヲ以テ之ヲ引致スルト云フコトヲ許シテゴザイマセヌ、右等ノ事情ガゴザイマスルカラシテ旁々本人ナシテ自ラ進ンデ裁判所ノ命令ニ應ゼシムルタメニハ相當ノ金額ヲ給與スルノ必要ガゴザイマス、右ノ次第デゴザイマスルカラシテ、此鑑定通辯又ハ翻譯等ニ附キマシテ多クノ時間ヲ要シタリ或ハ又特別ノ技能ヲ要シ若クハ其爲ニ費用ヲ要スルトキニハ刑法附則第四十九條ニ定メゴザイマスル所ノ日當ノ外ニ相當ノ金額ヲ給與スルコトガ出來ルヤウニ致シタリノガ本案ノ主意デゴザイマス、尤モ現行ノ刑法附則ノ第五十二條ニ於キマシテモ全ク是等ノコトヲ考ヘテ居ナイ譯デゴザイマセヌ、即チ解剖舍密等ニ要スル費用トカ或ハ多クノ時間ヲ要スル翻譯料等ハ日當ノ外ニ之ヲ給與スルコトヲ許シテゴザイマス、併ナガラ此規定デハ鑑定通辯等ノ勞力ニ對シテ日當ノ外ニ多クノ金額ヲ給與スルコトノ道ガゴ

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段ニ御質問モナクバ委員ノ選舉ニ移リマス
○子爵堤功長君 本案ノ特別委員ハ議長ニ於テ御選定アラムコトヲ願ヒマス
○伯爵大原重朝君 賛成
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 民法第千七十九條及第千八十一條ノ規定ニ依ル遺言ノ確認ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

〔河田書記官朗讀〕
民法第千七十九條及第千八十一條ノ規定ニ依ル遺言ノ確認ニ關スル法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十二年十一月二十二日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
陸軍大臣子爵桂太郎
海軍大臣山本權兵衛
司法大臣清浦奎吾

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載錄ス〕
民法第千七十九條及第千八十一條ノ規定ニ依ル遺言ノ確認ニ關スル法律案

第一條 民法第千七十九條ノ規定ニ依リ軍人軍屬ノ爲シタル遺言ノ確認ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ請求スヘシ

一 陸軍ニ在リテハ遺言ヲ爲シタル地ヲ管轄スル陸軍軍法會議ノ理事ニ請求ノ理事又ハ遺言ヲ爲シタル地ヲ管轄スル陸軍軍法會議ノ理事ニ請求スヘシ若其ノ軍法會議ノ設置ナク若ハ廢セラレタル場合ニ於テハ遺言者ノ住所地又ハ相續開始地ヲ管轄スル陸軍軍法會議ノ理事ニ請求

スヘシ

二 海軍ニ在リテハ遺言當時遺言者ノ屬シタル海軍官衛團隊所在地附近

ノ軍法會議ノ主理ニ請求スヘシ若遺言ヲ爲シタル者カ艦船乗込員ナ

ル場合ニ於テハ便宜海軍軍法會議ノ主理ニ請求スヘシ

第二條 民法第千八十一條本文ノ場合ニ該當スル遺言ノ確認ハ便宜海軍軍

法會議ノ主理ニ請求スヘシ

第三條 民事訴訟法裁判所職員ノ除斥人證鑑定ニ關スル規定非訟事件手續

法第六條第八條第九條第十一條第十二條第十四條第十七條乃至第十九條

第三十二條第百九條第二項ノ規定及民事訴訟費用法ノ規定ハ本法ノ事件

ニ之ヲ準用シ其ノ規定中裁判所及判事ニ屬スル職務ハ理事又ハ主理之ヲ

行ヒ書記ニ屬スル職務ハ錄事之ヲ行フ但シ上訴ニ關スル規定ハ準用ノ限

ニ在ラス

〔政府委員中村雄次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(中村雄次郎君) 本案ヲ提出致シマシタ理由ハ軍人軍屬が從軍致シマシタ即チ從軍中遺言ノ確認又艦船乗組中ノ遺言ノ確認ノコトニ附キマシテハ民法第千七十九條及第千八十一條ニ規定ガゴザイマス、此規定ニ據リマスルト遺言ノ確認ハ理事又主事ノ管轄ニ屬シマシテ非訟事件手續法ニ據ルコトハ出來マセヌノデゴザイマス、ソレ故ニ特別ノ規定ヲ設ケマスルニアラザレバ如何ニシテ此遺言ヲ確認スルト云フ方法ガ附イテ居リマセヌノデゴザイマス、故ニ本案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマスル、即チ本案ニ於キマシテ此軍人軍屬ノ遺言ノ確認ノ手續ヲ定メラレタイト云フ趣意デゴザイマス

右
民事訴訟費用法中改正法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十二年十一月二十二日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

司法大臣 清浦奎吾

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載録ス〕

民事訴訟費用法中改正法律案

第十一條第二項ヲ左ノ如ク改ム

鑑定又ハ通辯ニ付キ數多ノ時間又ハ特別ノ技能若クハ費用ヲ要スルトキハ日當ノ外別ニ相當ノ金額ヲ給スルコトヲ得

〔政府委員倉富勇三郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(倉富勇三郎君) 本案ハ先刻申述べマシタ刑法附則中改正法律案トハ刑事ト民事トノ區別ガゴザイマス、又刑法附則ノ規定ト民事訴訟費用法ノ規定トハ少シク異ナル點モゴザイマス、刑事ト民事トニ就イテハ費用ノ出所モ違ヒマス、是等ノ違ハゴザイマスケレドモ現行法ノ規定デ實際困難ヲ感知マスコトハ全ク同一デゴザイマス、本案ノ提出ニ就キマシテ理由ヲ申述べマスレバ更ニ又先刻申述べマシタコトヲ繰返スニ過ギナイコトニナリマスカラ本案ニ就イテハ別段ニ申上ゲナイコトニ就キマシテモ御賛成アラムコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナケレバ委員ノ選定ニ移リマス

○男爵中川興長君 本案ノ特別委員モ議長ニ於テ御選定アラムコトヲ希望致シマス

○男爵金子有卿君 賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ガナクバ其通りニ致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 別ニ御發議ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

○子爵小笠原壽長君 此特別委員ハ刑法附則中改正法律案ト同一委員ニ付託シタウゴザイマス

○子爵堤功長君 賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 小笠原子爵ノ動議ニ御異議ガナクバ其通りニ致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 民事訴訟費用法中改正法律案、政府提出第一讀會チ開キマス

〔河田書記官朗讀〕

第九十二條ノ次ニ左ノ三條ヲ加フ

第九十三條 明治三十三年三月三十日ニ於テ現ニ蒼鉛鑄、格魯謨鐵鑄、
擗鑄、樹炭又ハ土壁青チ採取スル者ニシテ明治三十三年六月三十日迄ニ

其ノ鑛物採掘ノ特許ヲ出願スルトキハ其ノ採取區域ニ限り第十六條及鑛
區ノ面積ニ關ニテ第四十一條ノ規定ニ拘ラズ特許ヲ與フヘン

前項ノ採取者ハ明治三十三年六月三十日迄、其ノ特許ヲ出願シタル者ハ

其ノ指令ノ日迄本法ノ規定ニ拘テス其ノ採取ヲ繼續スルコトナ得
九十四條 前條ノ規定ニ依リ採掘ノ特許ヲ出願スル者ハ第二十二條又ハ

第二十三條ノ承諾ヲ得ルコトヲ要セス

第九十五條 第九十三條ノ規定ニ依リ特許ヲ得タル鏡面ノ面積三千坪未滿ナル場合ニ於テハ其ノ特許ハ五箇年ヲ經過シタルトキハ消滅ス

本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣曾禰荒助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（曾禕荒助君） 唯今議事ニ上リマシタ鑛業條例中ノ改正法律案、

極ク簡單デハゴザイマスルガ第二條中ニ蒼鉛鑛、格魯謨、燐鑛、土瀬青、樹炭ト云フモノヲ追加シマシテ同時ニ是等ノ鑛物ヲ採取スル者ヲ保護シヤウトスウ云フ考デ、即チ是ダケノ鑛物ガ今日ノ條例中ニハゴザイマセヌチャニ依テ隨分實際ニ需要者供給者共ニ困難ヲ感ジテ居マス、且又此物質ノ層ヲナシテ居リマスル所ノ狀況又物質ノ價值採取ノ方法等モ悉ク鑛物トシテ處理スルノ必要ヲ感ジテ居リマス、今日我邦ニ於キマシテ蒼鉛鑛、燐鑛ノ如キハ隨分多量ニゴザイマシテ、益將來ニ望ノアル品物デゴザイマス、又格魯謨ダノト云

フヤウナモノハ是カラ製鐵事業ガ起リマスト尙ニ需要ハ増シテ來マスルコト
デ從^ツテ其採取ヲ企テル者ガ多クナリマセウト考ヘラレマス、又樹炭ノ如キハ
俗ニ所謂岩木、木炭ト云フヤウナ俗言ヲ以テ申シマスノデゴザイマスケレド
モ是亦一種ノ石炭ニハ間違ゴザイマセヌノデ、燃料物質デゴザイマシテ、最早
石炭ト同一ニ取扱^ツテ其採取ヲスル人モ彼ノ石炭ト同一ノ保護ヲ與ヘテ然ル
ベシト……又土瀝青モ是モ矢張リ燃料ノ一デゴザイマス、是モ或ハ道路ニ用
キルヤウナコトモゴザイマシテ將來大ニ望ノアル物質デゴザイマス、併シ今
日マデハ是等ノ物ガ如何ナル法令ヲ以テモ規定シテゴザイマセヌカラ實際ニ
ハ隨分困難ヲ感ジテ居リマス、ト申シマスルハ恰モ砂礫ト……泥ヤ沙ノ如キ
ヒト同一ニ取扱^ツテ居リマシテ實際ニ於キマシテハ大ニ困難ヲ感ジマス、故ニ礦

業條例中ニ入レマシテ鑛物トシテ採取ノ事業ヲ將來ニ益^メ發達セシメムト考
ヘマス、其他ハ之ヲ鑛物トシテ鑛業條例ノ差配ヲ受ケマスルニ依リマシテ今
日マデ取扱^ツテ居リマスル者ニ採取權ナヤルト云フダケノ除外例ヲ掲ゲテア
ルニ過ギメコトデ、ドウカ速ニ御議定ニナルヤウニ致シタイト考ヘマス、是
ダケノ事ナ一言申シマス

○田中芳男君　チヨット御尋致シマス、只今農商務大臣ノ御説明デ分リマシテ
ゴザイマスガ、モウ少シ細カイ事ヲ御尋致シタウゴザイマス、是ハ鑛事條例
ヲ唯今携ヘテ居リマセヌカラ詳シク茲デ比例シテ伺フコトハムツカシウゴザ
イマスガ、唯今伺ヒマシタ中ニ石炭ノ下ニ樹炭ト書イテアリマシタ、此樹炭
ト云フ言葉ハ大方外國ノ言葉ヲ翻譯シタモノデアラウカト思ヒマスガ、遂ニ
私杯ハコンナ字ハ存ジマセヌガ此石炭ト云ッテ今世間デ掘出シテ居リマス中
ニモナカナカ色々ナ種類ガアルヤウニゴザイマスガ、ドレダケガ石炭ノ部類
ニ這入ッテドレダケガ石炭ノ方カラ取除ケテアルト云フコトデアリマスル、故
ニ今日マデ此樹炭ト名ヅケルモノハ石炭ノ部類ニ這入ッテ居ラヌ、石炭ト云フ
字ノ中ニハ凡ソドレダケノモノガ石炭ノ中ニ入レテ取扱ッテ居ルカ、其中ニハ
入レラレナイカラドウシテモ新ニ樹炭ト云フ文字ヲ入レヌナラヌト云フヤウ
ニ伺ヒマシタガ、併シ此樹炭ト云フモノハ大方愛知縣杯カラ掘出シテ居ル岩
木、又宮城縣杯デ澤山掘ッテ焚附ニ致シテ居リマスル埋木杯ガ大方此樹炭デア
ラウカト思ヒマスガ、又此外ニ磐城ノ石炭ノヤウニ石炭ダカ木ノ埋レタノダ
カ分ラヌヤウナ間ノ子ノヤウナ物ハ石炭ノ方ニ這入ッテ居ルノデアリマスカ、
或ハ又今度ノ樹炭ノ方ニ這入リマスカ其邊ヲ伺ヒタウゴザイマス

〔政府委員田中隆二君演壇ニ登ル〕

○政府委員（田中隆三君） 唯今御尋ノ樹炭ト申シマスルノハ別ニ外國ノ言葉
ヲ翻譯シタノデハゴザイマセヌ、今度新ニ樹炭ト云フ名前ヲ持ヘマシタノデ
アリマス、其樹炭ノ中に包含セラルベキ種類ハ丁度御尋ノ御言葉中ニゴザイ
マシタ其岩木或ハ木炭ト稱スルモノノデゴザイマス、而シテ其樹炭ト云フモノ
ト石炭ト云フモノトハ大體ニ於テ區別ガ立ツテ居ルノデ、極クドチラニ附屬ス
ルヤ甚ダ見分ノ附ケ惡イト云フモノモゴザイマス、併ナガラ是ハ恰モ動物ト
植物トデサヘモドチラニ屬スルカ分ラヌモノガアルノト同ジヤウナ譯デ、ナカ
ナカ學術上困難ナ問題デアリマスケレドモ、サウ云フ疑ハシイモノハドチラ
カニ附屬セシムルト云フコトハ此技術上ノ鑑定ニ依ツテ區別スルヨリ外仕方
ハゴザイマセヌ、併ナガラ大體ニ於テ樹炭ト云フモノハ通常石炭ト云フモノ

トハ區別ガ立ツテ居ルノデゴザイマス、此樹炭ト申シマスルノハ凡テ此石炭ト云フモノ、中ニ包含セシメラレルコトハ或ハ出來ヌコトハナカッタデアラウ

ト思ヒマス、是ガ御尋ノ通り或ハ是ハ石炭ト云フ言葉ヲ極ク汎ク申シマスレバ樹炭ヲ入レテ入ラレヌコトハナイノデゴザイマス、併ナガラ是ハ鑛業條例ヲ制定致シマスル時ノ主意ハ石炭ト云フ言葉ノ中ニ或ハ樹炭デアルトカ或

ハ泥炭デアルトカ云フモノハ入レナイ主意デ出來テ居リマスノデ、此法律發布ト同時ニ或ハ岩木デアルトカ或ハ木炭ト云フ名前デ借區權ヲ得テ居タ者ヨリ、ソレソレ借區權ヲ返納セシメタノデゴザイマス、サウシテ其以後ハ鑛業條例デ借區權ヲ返納セシム位ノコトデゴザイマスカラ是ハモウハヤ鑛業條例ノ鑛物デハナイ地主ノ所有權ノ一部分ニ屬シテ居ルモノトシテ今日マデ自由ニ探掘セシメ來タノテゴザイマス、何故ニソレヲ鑛業條例ニ入レナカッタカト云フト其當時ソレ等ノモノハ餘り重要產物ニナツテ居ラナカッタカラ、

鑛業條例デ以テ探掘ヲ保護スルトカ其鑛業ヲ監督スルトカ云フ必要ヲ認メナカッタノデアリマス、所ガ近頃ニ至テ石炭ノ直段ガ段々高クナリマシタデ、段々惡イ石ヲ使フ又工業上樹炭ヲ盛ニ使フト云フコトニナリマシタ、樹炭ヲ盛ニ使フ所カラ樹炭ニ關スル仕事がナカナカ大袈裟ニナツテ來テ蒸氣濾罐ヲ用ヒテ水ヲ揚ゲテ仕事ヲシテ居ルト云フ有様デ、又ソレニ伴フ所ノ危險等ノコトガ外ノ石炭業ト格別差違ノナイヤウニナツテ來マシタ、サウナツテ見マスルト此樹炭ヲ試掘スルト云フコトノ上ニ直接鑛業條例ヲ適用シナケレバ取締ガ付カナイト云フコトト併セテ御尋ノ通り石炭ニ類似シテ居ルモノデゴザイマスカラ、是亦石炭デアルト云ウテ石炭ノ名ヲ借リテ鑛業條例ヲ利用シテ現ニ地主ガ採取シツ、アル所ノ岩木、木炭ヲ鑛業條例ニ石炭ト云フニ名ナ借リテ奪取ラウト云フ紛擾モ續々起ツテ參リマシタ、ソレデアリマスカラ此度此議案デ以テ明ニ將來石炭ト稱スルモノ、中ニハサウ云フモノハ這入ツテ居ラナイト云フ、ソレカラ今現ニ掘ツテ居ルモノト今後鑛業條例ニ依ツテ此樹炭ヲ掘ラウト云フモノト其年限等ヲ明ニ定メテ今マデノ人ヲモ保護スル途ナ開キ又今後此仕事ヲ獎勵發達セシメムトスル趣意デアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御質問モナクバ委員ノ選定ニ移リマス

○子爵小笠原壽長君 特別委員ノ選舉ハ議長ニ御依託ヲ致シマス

○子爵錦織教久君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 異議ガナクバ議長ニ於テ指名致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 獸疫豫防法中改正法律案、政府提出、第一讀會

(河田書記官朗讀)

獸疫豫防法中改正法律案

右 勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十二年十一月二十二日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋
農商務大臣 曽禰荒助

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載錄ス)

獸疫豫防法中改正法律案

第十一條中第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

六 有病地ヨリ輸入シタル獸類及物品

(國務大臣曾禰荒助君演壇ニ登ル)

○國務大臣(曾禰荒助君) 獸疫豫防法中改正法律案ハ是ハ既ニ理由書ニモ掲ゲテ置キマシタ如ク私ガ申上ゲマスルト尙ホ簡短ニナリマス、是ハ重ニ直接ニ申シマスレハ朝鮮支那アタリカラ持ツテ來ル牛デゴザイマス、アノ邊ハ獸疫ノ流行地ト殆ド言ウテモ宜イ位ナ所デ、就中時ニ依リマスト隨分盛ニナツテ居ル、其時ナリスルト言フカ或ハ僥倖スルト言フカ、コツチニ持ツテ戾ツテ專賣シ若シ出ナイトキニ大儲ナスル惡ルカラモガ幾分カハ錢ヲ拂ツテ貰フカラ多少得ニナルト言フヤウナ勘定カラシテ病獸ヲ輸入スル弊ガゴザイマスデス、是ハ即チ撲殺スルトキニ於テ代價ヲ拂ハヌトシマシタナラバ其弊ガナイヤウニナリマセウト斯ウ云フ考カラシテ此案ヲ提出致シタノデアリマス、是ヨリ外ニ別段何モゴザイマセダ

○田中芳男君 又チヨット御尋致シマス、唯今農商務大臣ノ御説明デ分リマシテゴザイマスルガ、シテ見マスルト此輸入致シマス先キハ即チ支那朝鮮ヲ指シタモノト承知致シマシタガ、併ナガラ私掠ハ昨今此ペスドノ流行ニ就イテ餘程戰々競々トシテ居ル時節ニアリマスカラ或ハ矢張リベスドノコトモ含ンデ居ラウカト考ヘマスガ、決シテサウ云フ譯デハナイ、全ク支那朝鮮カラ來ル牛ニ關係シタモノデアルトスウ云フヤウニ承リマシタガ、併シ是ハ尤モ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

私ハ茲ニ獸疫豫防法ヲ持テ居リマセヌカラケマセヌガ、獸疫豫防法ト云フモノハ其ヤウナベスと杯ニ關係ノナイモノダカラベスビノ方カラ持テ來タモノニハ一向是ハ關係ガナイコトニナツテ居ルデアラウト思ヒマスカラ、果シテサウデアリマスカ、若クハ此ベスと杯ニモ多少關係ガアル譯ナラバ決シテ此種類即チ牛馬ノ如キモノ、ミニ止ラヌヤウニナリマセウ、是ハ一向ベスと杯ノ流行地ニハ關係ナク朝鮮支那等ニ關係シタ法律デアリマスカ、ソコナチヨット伺ヒマス

〔國務大臣曾禰荒助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(曾禰荒助君) 今ノ御尋ハベスとニ關係ガアルカト云フコトガ大體デアラウト思ヒマスベスとニ關係ガゴザリマセヌ、ソレハ今私ガ直接ニト前キニ申上ゲタ通りニ重ニ支那朝鮮デゴザイマシテ又他ノ處カラデモ餘所ノ處カラデモ他ノ土地即チ牛ヲ持テ居ル所ノ地デゴザイマシテモ傳染ナ……、即チ流行地カラ殊更ニ持テ來ルト云フモノハ其危險ヲ自ラ冒シテ居ルカラ別段ニ保護スルニ及バヌト云フ精神カラデゴザイマスベスとニハ一切關係ハゴザイマセヌ

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御質問モナクバ委員ノ選定ニ移リマス

○子爵錦織教久君 本案ノ特別委員モ議長ニ委託致シマス

〔賛成ト呼フ者アリ〕

○南郷茂光君 賛成

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ議長ニ於テ指名致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵近衛篤磨君) 市町村立小學校教育費國庫補助法案、政府提出、第一讀會

〔河田書記官朗讀〕

市町村立小學校教育費國庫補助法案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治三十二年十一月二十二日

内閣總理大臣侯爵山縣有朋

大藏大臣伯爵松方正義

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ載錄ス〕

文部大臣伯爵樺山資紀

第一條 市町村立小學校教育費國庫補助法
市町村立小學校教育費國庫補助法

ス

第二條 補助金ノ用途及補助ノ方法等ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第三條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ施行ス

第四條 市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法及小學校教育費國庫補助ハ之ヲ廢止ス

〔政府委員奥田義人君演壇ニ登ル〕

○政府委員(奥田義人君) 本案ハ僅カ四箇條ノ極ク簡単ナル法案デアリマスルガ其實質ニ於キマシテハ現行ノ此小學校教員年功加俸法ト、ソレカラ此本年法律第百七號ナ以テ發布セラレマシタ小學校費國庫補助法トニツナ合併シタモノデゴザイマス、デ現行ノ此小學校教員年功加俸法ト云フモノハ誠ニ不完全ナル規定デアリマシテ、動モスルト云フト此老朽ノ教員ヲ優遇スルト云フヤウナ結果ナ生ジテ來マシタ、ト云フノハ此規定ニ依テ見マスルト云フト、唯年限サヘ經過致シマスレバ自ラ此加俸ニナルヤウナ規定ニナツテ居リマスルノデアリマスルカラ、或ハ五年勤續シ或ハ十年勤續シ或ハ十五年勤續シテ其勤續年限ガ重ナレバ重ナルニ從ヒマシテ、自然加俸ナセラル、ト云フノデアリマシテ他ニ何等ノ條件モ定メテアリマセヌガ故ニ、自然此老朽者ヲ優遇スルヤウナ結果ナ生ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ又一ツニハ此勤續年限

ト云フモノガ同一ナ學校ニ於テ勤續チシタ場合デナイト計算ナセラレヌコトニナツテ居リマス、ソレガ故ニ正教員ノ配置上等ニ非常ナ不便ナ來シテ參リマシタ、彼此頗ル不完全ナ感ジテ居ルヤウナ次第デアリマス、又本年百七號ナ以テ發布セラレマシタ所ノ此小學校費國庫補助法ニ依リマシテ見マスルト此配付スベキ金額ト云フモノガ定メテアリマセヌ、サウシテ毎年ノ豫算ヲ以テ定メルコトニナツテ居リマス、デ毎年ノ豫算ニ依テ定メマシタ所ノ其金額ト云フモノハ如何シテ之ヲ配付スルカト云ヒマスルト、就學兒童數ト、ソレカラ此學齡兒童數トニ比例ナシテ配付スルコトニナツテ居リマス、學齡兒童數ニ依テソレニ比例ナシマシテ配付スルコトデアレバ、勿論稍々確實公平ナ保テ往クコトガ出來得マスクレドモ、就學兒童數ヲ標準ト致シマシテ配付スル

ト云フコトニナリマシテハ誠ニ不確實ナコトデアリマスルカラシテ、ソレヨリ不公平ナル結果ナ生ジテ參リマス、殊ニ又金額が一定ナシテ居ラヌモノデアリマスルカラ毎年ノ豫算ニ依リマシテ或ハ上リ或ハ下ルト云フヤウナコトニナツテ來マス、上リマシタトキニハ不都合ハアリマスマイケレドモ政府ノ財政ノ都合ニ依ッテ其金額が下リマスヤウナ場合ニ於キマシテハ市町村ノ學校ノ經營上ニ大變ナ影響ナ來スト云フヤウナ不便ガアリマス、デ兩方ノ法律案トモ頗ル規定が不完全デアルト考ヘラレマス、殊ニ其目的ト致シマスル所ハ兩案トモ即チ小學校ノ補助ニ用フルト云フニ他ナラヌモノデアリマスニ依ッテ、此二ツノ法案ナ合併シサウシテ此金額ナ此法案ニ依ッテ以テ一定ナシテ其補助金ノ用途ナリ補助ノ方法ナリト云フモノハ勅令ナ以テ定メルガ便宜デアラウト云フ譯ヨリ致シマシテ本案ガ提出ニナリマシタ次第デゴザイマス、御審議ノ上御協賛アラムコトナ希望致シマス

○久保田讓君 チヨット質問ナ致シマスガ、唯今政府委員カラ述ベラレマシタ通リニ此法律ハ簡單ナ法律デハアリマスガ其關係スル所ハ頗ル廣大ナ況イ關係ナ有ツテ居リマス、即チ年功加俸國庫補助法並ニ小學校教育費國庫補助法ト云フモノナ廢シテ仕舞ツテ新ニ一ノモノニシャウト云フコトデアリマシテ、唯今此兩法律ノ不完全ナルト云フコトナ政府委員カラ述ベラレマシタガ、其述ベラレマシタ理由ハ政府自身デ自分ノ是マデ主張セラレタ所ノ理由ナ自ラ攻撃シテ反對ナセラル、ト云フヤウナ理由デゴザイマシテ、例ヘバ年功加俸ニ就イテハ唯今政府委員ノ述ベラレマシタ所ノコトハ我々ガ前ニ餘程主張ナシテ、サウシテ斯ウ云フ法律デハ宜シタナイカラ是非改正ナセラル、ヤウニト云フコトナ鑑々申述べタ、併ナガラ其當時ニ於テハ政府ハ決シテ之ニ贊成ナセラレヌ、此時政府ガ主張セラレタ所ノ理由ナセラル、ヤウニト云フコトナ最モ教育上必要トシテ述ベラレタ、ソレハ教員ガ轉換シテ勤續年限が短クテ屢々更ッテ甚ダ困ル、ドウゾ成ルベク之ナ永ク使ヒタイ、其爲ニ年限ナ五年勤メタモノヘハ幾ラ加俸ナヤル、尙ホ五年勤メレバ幾ラ加俸ナヤルト云フヤウナコトデ、此必要カラシテ此年功加俸ノ法律ナ制定セラレタノが政府ノ精神デアツタ、之ナ今度ハ變ヘヤウト云フ、私ハ變ヘルコトニハ反対ハゴザイマセヌ、其方が尙ホ宜カラウト思フノデアリマスガ、兎ニ角政府ノ考ガ稍々變ツテ來タ、ソレカラモウツ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 久保田君ニ伺ヒマスガ、ソレハ質問デスガ

○久保田讓君 サウデス、ソレカラ未ダ餘程長イ……

○議長(公爵近衛篤磨君) ドウカ成ルベク要領ナ御尋ナサルヤウニ願ヒタイモ後來殆ドイケマイト云フコトナ申シタノデ、併ナガラ此法律デ矢張施行ガ出來ル、斯ウ云フコトナ政府ハ辯ゼラレマシタ、サウシテ現ニ本年十月十九日ニ此法律ガ發行セラレテ唯今ヨリ一箇月前ニ法律チ發布セラレマシタ、サウシテ今日ニ於テ其法律ハ不適當ダ、大變不都合デアツタ、施行ガ出來ナイカラ之ナ改正スルト云ハレマスガ、其十月十九日ニ發行セラレマシタ時ニハ適當デアルカ不適當デアルカト云フコトが御分リニナラヌノデアリマシタラウカ、第一ニハソレナシトモヒタイ、餘程不都合デナサイカト思フノデアリマス、ソレカラ其次ニ御尋ナシタインハ、此法律ニハ補助金ナ用キル目的ト云フモノハ、ドウ云フモノニ用ヒルノデアルガ、一向目的ガ書イテアリマセヌ、唯勅令ナ以テ之ナ定メルトアル、サウスルト是ハ其教員ノ俸給ニ用キルノデアルカ、或ハ設備ノ爲ニ用キルノデアルカ、又衆議院アタリデ頻ニ唱ヘテ居授業料ナ廢スル爲ニ用キルノデアルカ、一向其目的が分リマセヌ、之ナ勅令デ出スト云フト何時デモ出來、ドウ云フコトニモ用キルコトガ出來ルヤウニナルト存ジマスガ、餘リ法律トシテハ漠トシタモノデ、此補助ナスル目的ガ甚ダ不明デアルハ不都合デハ無イカト思フ、ソレナシトモヒタイ、ソレカラ金額ナ百萬圓ト云フコトニ定メラレマシテアリマスガ、私杯ノ調ベル所ニ依リマスルト小學補助金ノ方ハ僅ニ四十萬圓位ニナルヤウデゴザイマス、是モ昨年政府ハ殆ド茲デ公言致サレマシテ、教員ノ俸給ノ十分ノ一ニ當ル額凡ソ八千萬圓乃至九十萬圓位ハ初ノ年カラ支出ナシテ、サウシテ段々上ッテ行ク積テアル、サウ致シマスルト本年モ現ニ六十萬圓ト、ソレカラ八十萬圓即チ百四十萬圓ト云フ額ハ此補助金トシテ公然支出ナセラル、ト殆ド政府ハ公言致シテ居ルノデアラウト思フノデアリマス、之ナ變更スレバ其金が減ツテ仕舞フ、教育ナ獎勵スルノデナクテ、教育ナ擴張スルノデナクテ、却ツテ縮少シテ縮メテ行クヤウニ看做サナケレバナラヌ、是ハドウデアリマスカ、兎ニ角小學補助金ノコトハ御承知ノ通り先年來、議院ノ内外ニ於テ辛苦艱難シテ漸々昨年法律ト爲ツテ政府モ採用セラレテ僅カ一箇月後ニ此法律ナ發布セラレテ之ナマスガ、此箇條ニ就イテドウゾ御説明ナ請ヒタイ

〔政府委員奥田義人君演壇ニ登ル〕

○政府委員(奥田義人君) 唯今久保田サンヨリ御質問ノアリマシタ事柄ニ就イテ御答へ致シマス、第一ハ此國庫補助法案ト云フモノハ先月ノ十七日ニ出テ僅カ一箇月ヨリ外ナラヌノニ今之チ廢スルト云フハ如何ナル理由デアルカト云フコトノ御質問ノヤウニ伺ハレマシテアリマス、先刻私ヨリ説明ヲ致シマシタノハ決シテ國庫補助法案ガ今日アノ法律案ノ儘ナ以テ施行スルコトハ出來ヌトハ申述ベタデハアリマセヌ、不完全デアル、不完全デアルカラシテ之ヲ完全ニシタイト云フ趣意ヨリ致シマシテ今度ノ法案ガ出タ譯デアルト云フ趣意ナ述ベタ積デアリマス、執行ナスレバ出來ヌコトハアリマセヌ、政府デハアノ法案ヲ發布シマシタ當時ニ於キマシテハアノ儘デ以テ執行ナスル積デアツタ、又スレバ出來ヌコトハアリマセヌガ、唯今アノ儘デ執行スルト云フコトニナリマスルト云フト種々ノ不便種々ノ不都合ガアルト云フコトヲ説明ヲ致シマシタ譯デアリマス、ソレカラ第二ニハ此補助金ノ使用方法ノコトニ就イテ御尋ガアリマシテゴザイマスガ、是ハ當局ノ見込デハ矢張リ年功加俸ト、ソレカラ本俸ノ補足ニ充テル積デアリマス、ソレラノコトハ法律案ノ中ニ規定ナシマシタカラト云ウテ決シテ差支ヘルコトデモ何デモアリマセヌノデアリマスルガ、國庫補助法案ノ中ニハソレ等ノコトノ目的モ規定シテアリマセナンド、其例ニ依ッテ唯大體小學校費ノ補助ニ用キルト云フノ大目的ダケナ此法律案デ定メマシタ、アトノ事ハ勅令案ニ讓ッタ方ガ宜カラウト云フコトデ茲ニハ除イタ譯デアリマス、併ナガラ當局ノ目的デハ唯今モ述べマシタ通り功加俸、ソレカラ本俸ノ補足ニ充ツルト云フ精神デアリマス、ソレカラ第三ニハ金額ノコトニ就テノ御問デアリマス、此金額ヲ百萬圓ト茲ニ定メマシタノハ一ハ財政上ノ都合ガアリマスル、又一ハ當時ノ小學校教員ノ俸給額十分ノート云フモノヲ標準ニ取リマシテ之ヲ百萬圓ト定メタ譯デアリマス、併ナガラ主タル理由ハ財政上ノ都合ヨリシテ是ヨリ以上ノ金額ヲ茲ニ見積ムテ定メルト云フコトハ出來得マセヌノデ百萬圓ト定メマシタ譯デアリマス、

○議長(公爵近衛篤磨君) 他ニ御質問ガナクバ委員ノ選定ニ移リマス

○子爵小笠原壽長君 特別委員ノ選舉ハ議長ニ御委託ニ致シマス

○小原重哉君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 御異議ガナクバ議長ニ於テ選定ヲ致シマス、本日ノ議事ハ是ニテ終リマシタ、唯今御委託ニナリマシタ委員ノ氏名ヲ御報道致

シマス

〔太田書記官長朗讀〕

刑法附則中改正法律案外一件特別委員

侯爵松平 康莊君 子爵本莊 壽亘君 子爵入江 爲守君
子爵丹羽 長保君 岡内 重俊君 村田 保君
男爵平野 長祥君 南郷 茂光君 五十嵐甚藏君
民法第千七十九條及第千八十一條ノ規定ニ依ル遺言ノ確認ニ關スル法律案特別委員

伯爵吉井 幸藏君 子爵青木 信光君 三浦 安君
男爵小澤 武雄君 男爵南岩倉 具威君 谷森 真男君
馬屋原 彰君 水野 遵君 山本 忠秀君
法人ニ於テ租稅及葉煙草專賣ニ關シ事犯アリタル場合ニ關スル法律案特別委員

伯爵德川 達孝君 子爵小笠原 壽長君 三好 退藏君
名村 泰藏君 周布 公平君 男爵生駒 親忠君
森山 茂君 児玉淳一郎君 田中 源太郎君
鑛業條例中改正法律案特別委員

伯爵坊城 俊章君 男爵尾崎 三良君 田中 芳男君
男爵藤村 紫朗君 男爵島津 珍彦君 男爵紀 俊秀君
男爵吉川 重吉君 武井 守正君 住友吉左衛門君
獸疫豫防法中改正法律案特別委員

伯爵萬里小路通房君 子爵松平 康民君 男爵北垣 國道君
男爵本多 副元君 男爵眞田 幸世君 高木 兼寛君
大澤 謙二君 下條 正雄君 海江田 平治君
市町村立小學校教育費國庫補助法案特別委員

子爵長岡 護美君 子爵三島彌太郎君 男爵本田 親雄君
都筑馨六君 伊澤修二君 小幡篤次郎君
渡邊洪基君 男爵船越 衛君 久保田 讓君
報道ヲ致シマス、今日ハ散會
午後二時五分散會